

# PRELOADED PLUG

## パンクタルプラグ®

パンクタルプラグは涙液分泌減少症(ドライアイ)治療用の涙点プラグです。涙液の排出孔である涙点に挿入し、涙液を貯留させることで症状を改善します。

### 特長

- インサータに滅菌済みのプラグが装填されており、操作性に優れています。
- 接触する結膜の形状に沿うようツバが傾斜しているため、角膜・結膜に接触することによる異物感や抜落を軽減することができます。
- ツバの傾斜の方向がインサータに刻印されているため、容易に正しい方向にプラグを挿入できます。(高い方を鼻側、低い方を耳側に合わせます)
- 必要に応じてプラグを簡単に抜去できるため、涙液のコントロール性に優れています。
- 専用のパンクタルゲージを使用することにより、涙点の大きさに合ったプラグを選択できます。

拡張針

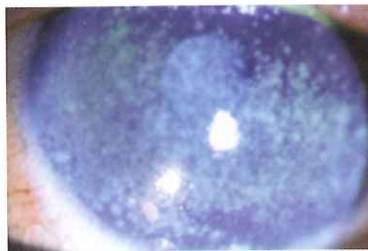
ディスポーザブル  
インサータ

プラグの挿入  
とリリースが  
容易にできる  
機構

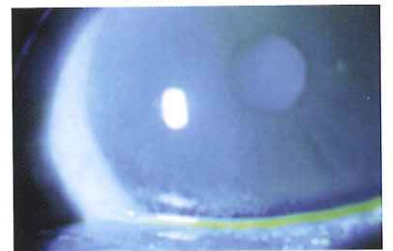
プラグのマークで  
挿入方向を決定

装填済の  
パンクタルプラグ

耳側←低 高→鼻側

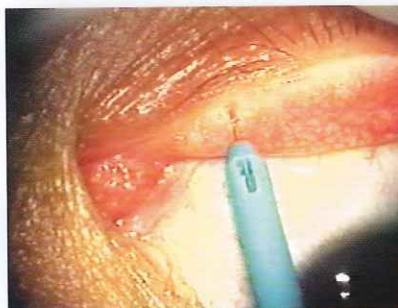


パンクタルプラグ挿入前

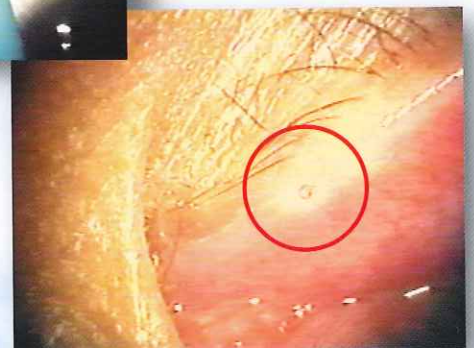


パンクタルプラグ挿入1週間後

パンクタルプラグは無色透明なため、挿入後目立ちません



涙点へ挿入



挿入後の涙点

# PLUGS

## サイズの決めかた

1. 点眼麻酔をします。
2. 最初に一番小さい「パンクトルゲージSS-S」のSSサイズゲージを涙点に挿入します。
3. SSサイズのゲージが「抵抗があるが挿入できる」もしくは「挿入できない」場合、SSサイズのプラグに決定します。
4. SSサイズのゲージが「抵抗なく挿入できる」場合は、「パンクトルゲージSS-S」のもう片側のSサイズゲージを挿入します。
5. Sサイズのゲージが「抵抗があるが挿入できる」もしくは「挿入できない」場合、Sサイズのプラグに決定します。
6. それより大きい場合は「パンクトルゲージM-L」のMサイズゲージとLサイズゲージを上記の手順と同様に使用してプラグのサイズを決定します。

### 注意事項

- ※ゲージを使用する際は、一番小さいSSサイズのゲージから挿入してください。
- ※ゲージはむりやり挿入したり、涙点を拡張して挿入しないでください。
- ※ゲージを使用しない場合は、涙点拡張針で涙点の大きさを確認してください。
- ※埋没や涙点組織の損傷を避けるため、拡張は必要最小限にしてください。

ゲージサイズ	挿入状況	プラグサイズ
SS	挿入できない 抵抗があるが挿入できる 抵抗なく挿入できる	SS
S	挿入できない 抵抗があるが挿入できる 抵抗なく挿入できる	S
M	挿入できない 抵抗があるが挿入できる 抵抗なく挿入できる	M
L	挿入できない 抵抗があるが挿入できる	L

パンクトルプラグの適切なサイズを決定するために、専用のパンクトルゲージ（別売）を使用します。



## 挿入のしかた

### 1. 挿入前の準備

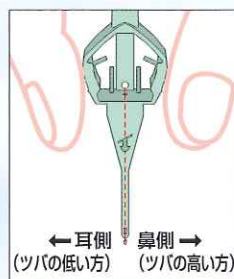
- パンクトルプラグを挿入する前には必ず涙道通水検査をして、開存涙点にのみ挿入してください。
- 患者を処置ベットに寝かせてリラックスさせてください。なお、手術用顕微鏡下で挿入することをお勧めします。
- 点眼麻酔をしてください。

### 2. 涙点の拡張

- 挿入するパンクトルプラグのインサータの拡張針部分または、眼科用拡張針を使用して拡張してください。
- SSサイズプラグおよびSサイズプラグを挿入する場合は、涙点の拡張が必要ない場合もあります。
- 涙点はゆっくり広げてください。埋没や涙点組織の損傷を避けるため、拡張は必要最小限にしてください。

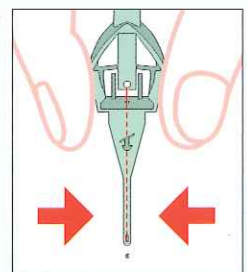
### 3. パンクトルプラグの挿入

- インサータに表示されたプラグのマークで、プラグを挿入した時、傾斜の高い方が鼻側になるように、親指と人差指でインサータを保持します。
- 涙点にプラグを置くような感じで、ゆっくりと挿入します。この時に強く押しすぎると、プラグが埋没する恐れがあります。
- 拡張が十分でなく、挿入できない場合は、再度拡張してください。



### 4. パンクトルプラグのリリース

- 挿入したら、インサータのハンドル部分をゆっくり押し込んでインサータ先端部を引っ込めてください。
- 挿入後は、ツバの向きが眼瞼にフィットしていることを確認してください。



### 5. パンクトルプラグの挿入状態の確認

- 検査には、スリットランプを使用してください。
- 必要であれば鑷子を使用して、プラグが眼瞼にフィットするように修正してください。

### 6. パンクトルプラグの抜去

パンクトルプラグは、涙液のコントロール、副作用等、必要に応じて抜去することができます。抜去は容易で、患者さんにも苦痛がありません。

- 鑷子でツバの下の軸部分を挟んでください。
- プラグの軸に沿って、ゆっくり引き抜いてください。

# PRELOADED PUNCTAL PLUGS

4種類のプラグから、ベストフィットのサイズを選択できます。

用途 / 涙液分泌減少症およびシェーグレン症候群  
 素材 / プラグ：シリコンゴム  
 インサータ：ポリプロピレン  
 滅菌 / エチレンオキサイドガス滅菌済  
 入数 / 1箱2個入（1個入り滅菌済パック×2）

## SS (品番:S2-3652t)



単位：mm

## S (品番:S2-3672t)



単位：mm

## M (品番:S2-3422t)



単位：mm

## L (品番:S2-3122t)



単位：mm

### 【取扱い上の注意】

- 挿入前に必ず通水試験で確認し、開存涙点にのみ挿入してください。
- 涙点を拡張するときは、各種の拡張針を用いて拡張してください。急激にあるいは過度に拡張すると涙点括約筋が断裂することがあります。
- パンクタルプラグは涙点に合ったサイズを挿入してください。涙点より小さなパンクタルプラグを挿入すると、涙小管内に埋没する可能性があります。
- 本品はディスプレイ製品ですので、1回限りの使用のみで再使用できません。

### 【オプション】パンクタルゲージ（別売）



品名	型式名	対応プラグ
パンクタルゲージSS-S	S2-3066t	SS(S2-3652t), S(S2-3672t)
パンクタルゲージM-L	S2-3067t	M(S2-3422t), L(S2-3122t)

パンクタルプラグの挿入については、材料費および挿入手技料に健康保険が適用されます。  
 詳しくは、弊社もしくは保険機関にお問い合わせください。

製造販売元

株式会社 トーメーコーポレーション

〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号

TEL (052) 581-5321 FAX (052) 581-5626

URL <http://www.tomey.co.jp>

製造元



FCI

France

ご用命は

080603